



株式
会社 鳥羽洋行

証券コード：7472

百年の信頼を、未来につなげる

2017年3月期 決算説明会

2017年5月15日（月）

- 1. 2017年3月期決算の状況**
- 2. 2018年3月期予想**
- 3. 販売拡大に向けての活動**
- 4. 株主還元**

1. 2017年3月期決算の状況

- ◆ 売上高 22,185百万円 (前年同期比△3.0%)
国内製造業における設備投資は、上期は低調に推移したものの、下期に持ち直した。
- ◆ 営業利益 1,050百万円 (前年同期比△18.0%)
売上減及び国内の競争激化が要因。
- ◆ 中国は、F A 機器の需要が後半回復

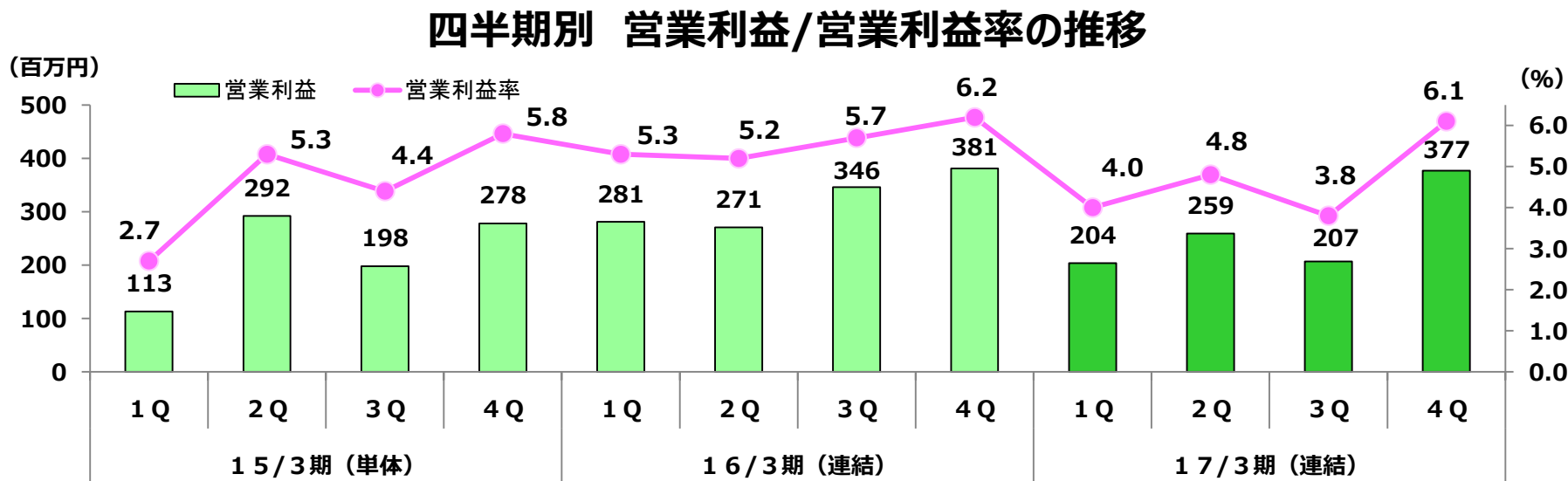
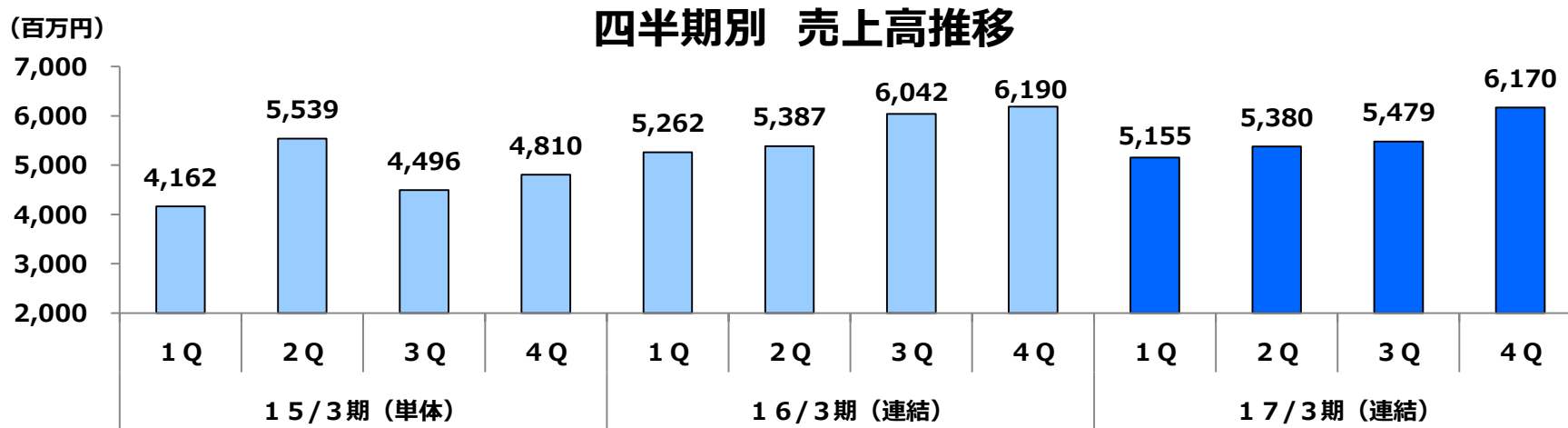
(百万円)

	1 6 / 3 月 期 前 期	1 7 / 3 月 期 当 期	前年同期比
売上高	22,881	22,185	△3.0%
営業利益	1,279	1,050	△18.0%
(営業利益率)	(5.6%)	(4.7%)	—
経常利益	1,379	1,153	△16.4%
(経常利益率)	(6.0%)	(5.2%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	895	765	△14.6%
(当期純利益率)	(3.9%)	(3.4%)	—

四半期別業績推移



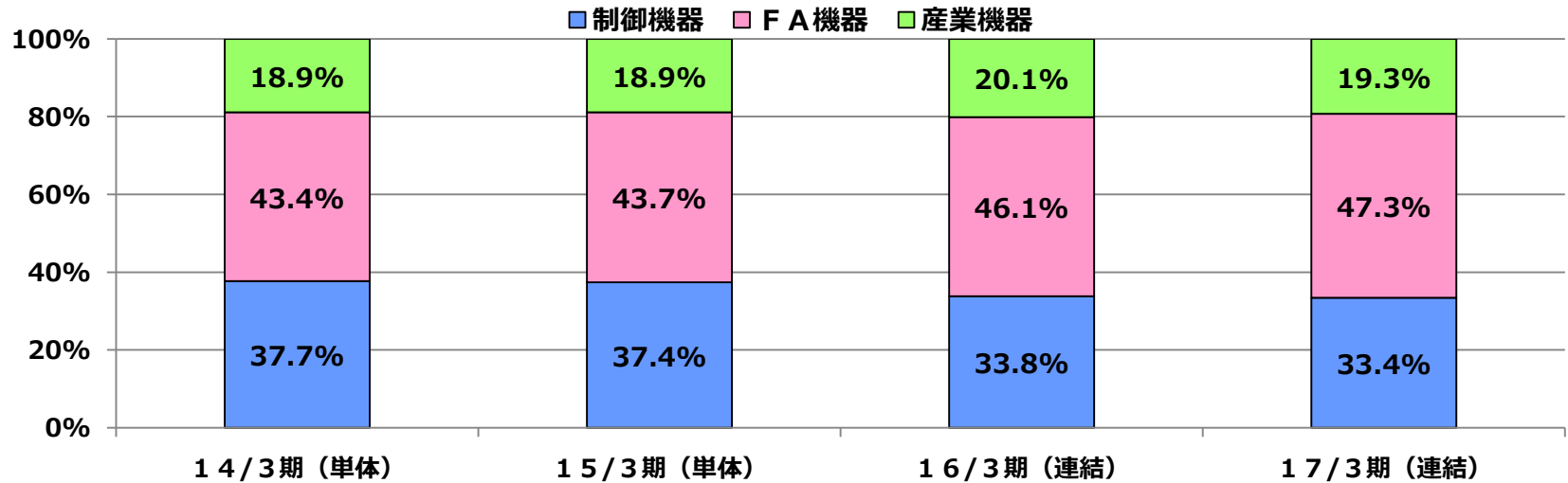
17年3月期 第4四半期で営業利益率が回復



※16/3期から連結財務諸表を作成しているため、15/3期は単体の数値です。

(単位：百万円)

取扱商品別売上構成比推移

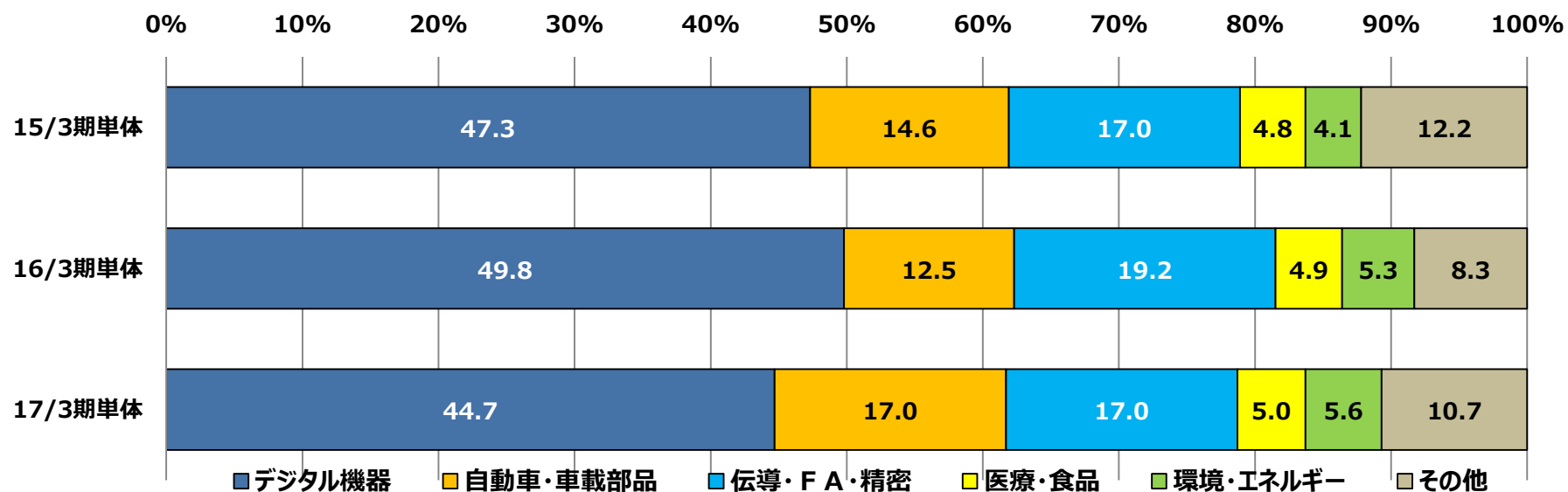


※16/3期から連結財務諸表を作成しているため、14/3期・15/3期は単体の数値です。

<部門別の概要>

制御機器	<ul style="list-style-type: none"> ● 主力の空気圧機器と流体継ぎ手は、有機EL関連メーカー、半導体製造装置関連及び物流機器メーカー向けが下期に回復。
F A 機器	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業用ロボットは、国内の得意先において自動化及び省力化機器ニーズが下期に回復。 ● 表面実装システム（マウンター等）は、電子機器関連の得意先や自動車・車載部品メーカー向けの需要は旺盛。 ● 中国では、スマートフォン関連の得意先向けにF A 機器需要が下期に回復。
産業機器	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動ドライバーは新商品投入により、幅広い得意先向けに堅調。 ● ネジ締め機器及び無人搬送車等は、自動車関連の得意先向けに好調。 ● ろ過フィルターは、継続して需要は高水準。

業種別売上構成比推移



「下期復調」

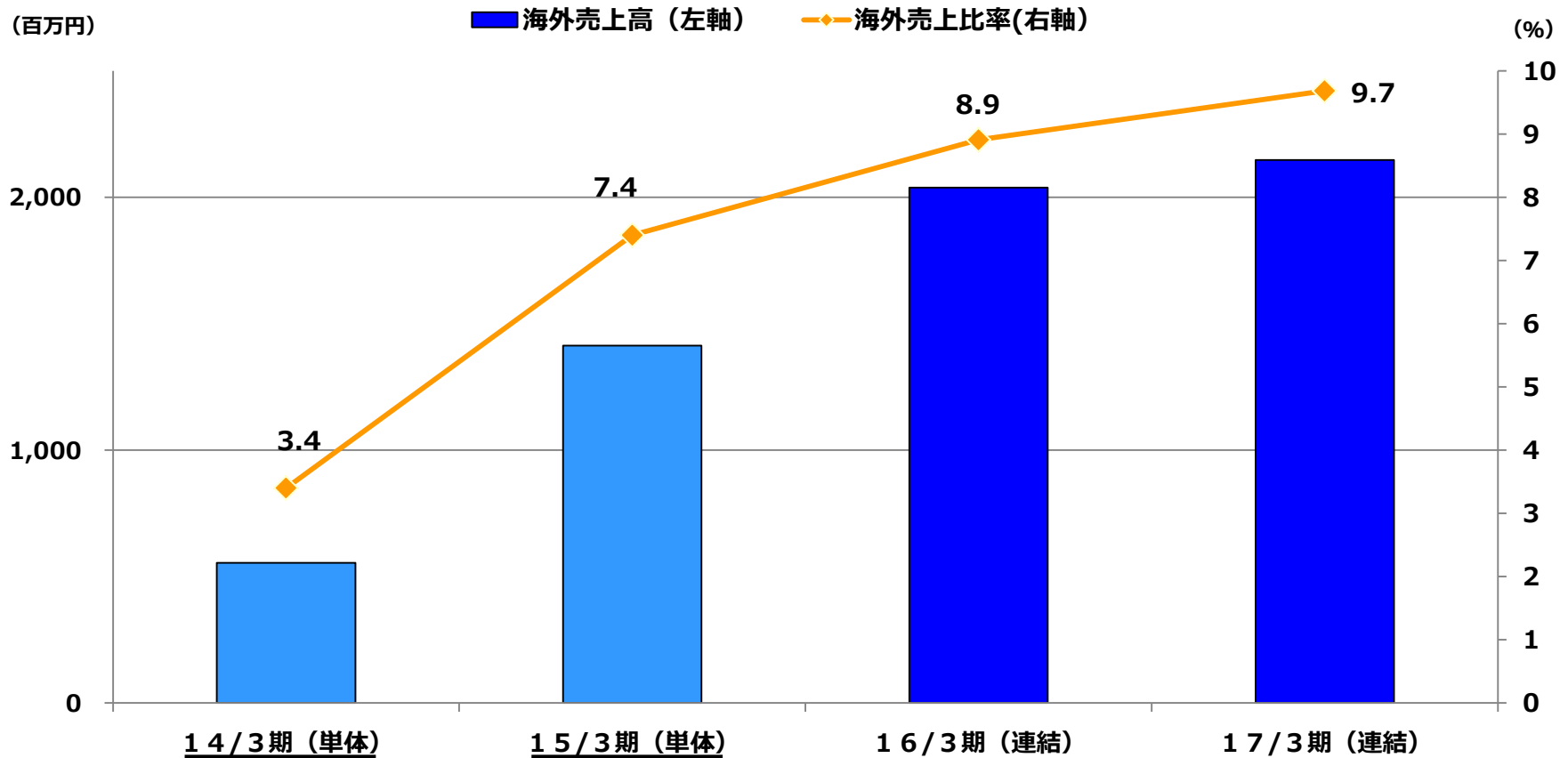
◆ デジタル機器

- ▶ スマートフォン、タブレット端末関連及び半導体製造装置関連向けは下期に回復した。
- ▶ 自動車の電子化に関する得意先は引き続き堅調。

◆ 自動車・車載部品

- ▶ 国内向けは堅調。
- ▶ 海外向けは好調維持。

海外売上比率が高まる



15/3期までは連結財務諸表を作成していないため、14/3期及び15/3期は単体の数値です。

B/S構成上の大きな変化はございません

(単位：百万円)

	16/3末	構成比	17/3末	構成比
流動資産	17,395	80.8%	18,140	82.5%
現金・預金	7,653	35.5%	9,426	42.9%
受取手形・売掛金※1	9,536	44.3%	8,461	38.5%
商品	82	0.4%	110	0.5%
固定資産	4,142	19.2%	3,853	17.5%
資産合計	21,537	100.0%	21,994	100.0%
流動負債	6,730	31.2%	6,611	30.1%
支払手形・買掛金※2	5,998	27.9%	6,173	28.1%
固定負債	250	1.2%	336	1.5%
負債合計	6,980	32.4%	6,947	31.6%
純資産合計	14,557	67.6%	15,046	68.4%
負債純資産合計	21,537	100.0%	21,994	100.0%

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

連結キャッシュフロー計算書



(単位：百万円)

	16/3	17/3
営業キャッシュフロー	37	1,772
投資キャッシュフロー	975	△237
財務キャッシュフロー	△258	△433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△28
現金及び現金同等物の増減額	741	1,073
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	285	—
現金及び現金同等物の期末残高	7,352	8,426

売上債権の減少が主因

配当金の支払い

2. 2018年3月期予想

「半導体 & ロボットの市場が拡大」

ハイテクイノベーションの波 → IoT

当社の活躍できる分野

- 有機 E L (スマホへの搭載)
- 5 G 携帯通信網 (2020年目標)
- A D A S (先進運転システム)
- 工場の自動化(人手不足)
- ヘルスケア分野(高齢化)
- クラウド(データセンターの増設)

2018年3月期業績予想 (連結)



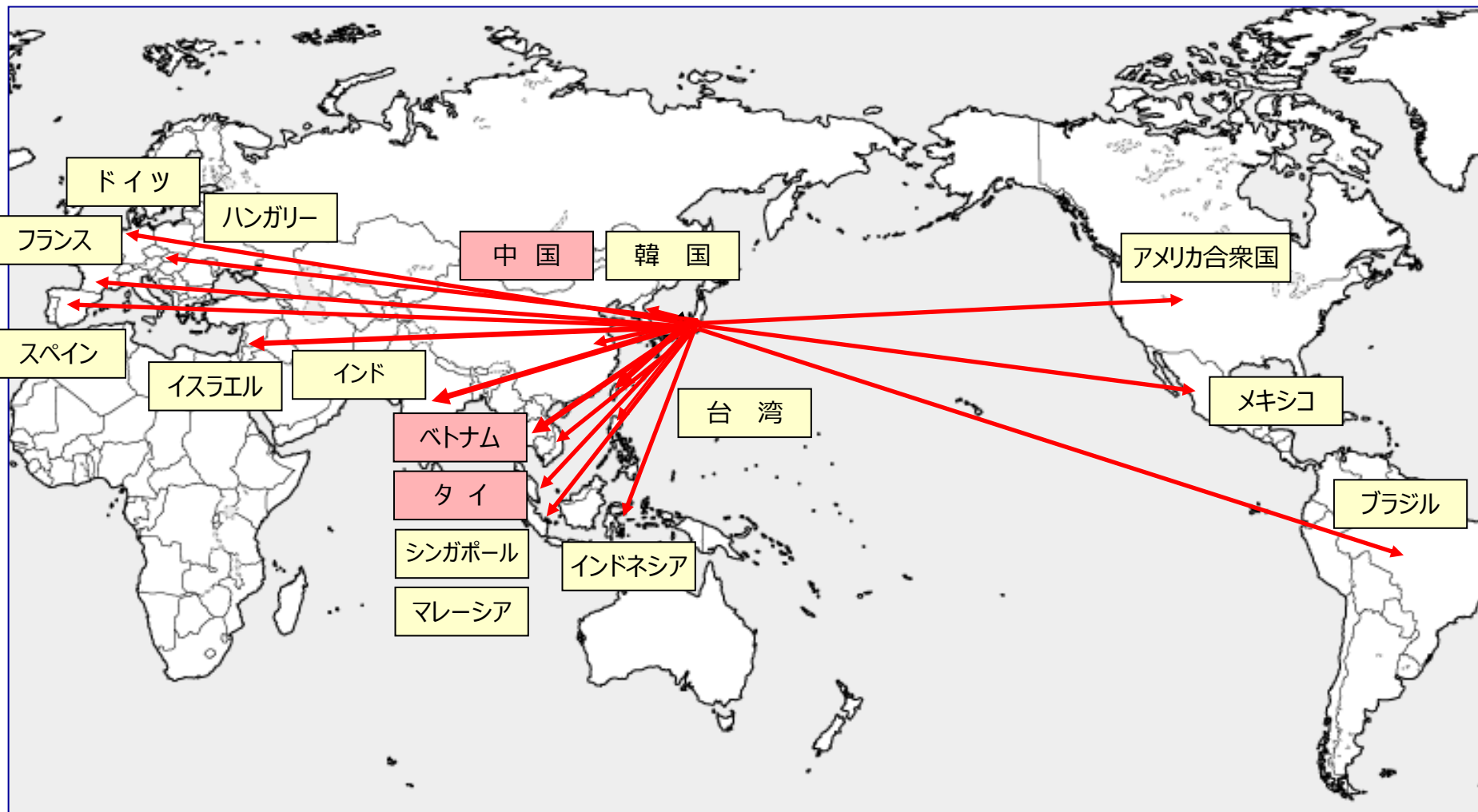
(単位：百万円)

	17/3期	18/3期 予想	前期比 (増減率)
売上高	22,185	23,000	3.7%
営業利益	1,050	1,100	4.8%
(率)	(4.7%)	(4.8%)	—
経常利益	1,153	1,200	4.0%
(率)	(5.2%)	(5.2%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	765	850	11.1%
(率)	(3.4%)	(3.7%)	—

3. 販売拡大に向けての活動

- 設備投資需要増加の望める業種への攻勢強化
 - ▶ 有機 E L・半導体設備に関連する得意先の取り込み。
 - ▶ 自動車の自動運転、電子化ニーズのための設備投資需要の取り込み。
 - ▶ 内需型製造業（住宅・医療機器等）の需要開拓。
 - ▶ 当社主催の複合展示会の積極展開。
- 有望商品の発掘（新商品開発）
 - ▶ レーザー溶接機・ろ過フィルターに続くヒット商品の発掘。
- 電子カタログ利用の推進
- 海外子会社との連携強化
- 新しい海外進出先の検討

日系企業中心に拡大する当社取引

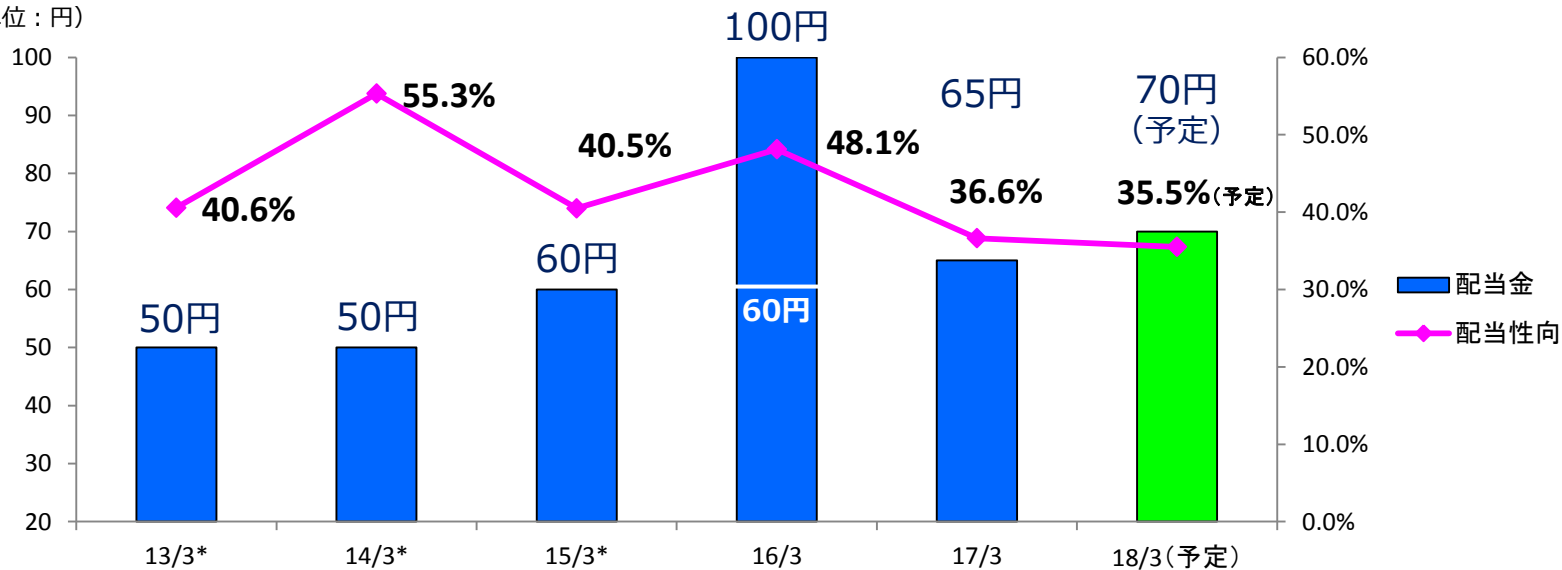


4. 株主還元

2018年3月期配当金：70円（予定）

1株当たりの配当金推移

(単位：円)



■ 株主還元方針

- 1株当たりの配当金 **40円** を下限
- 連結配当性向は **35%** 以上

○株主優待は「オリジナル・クオカード」を採用しています

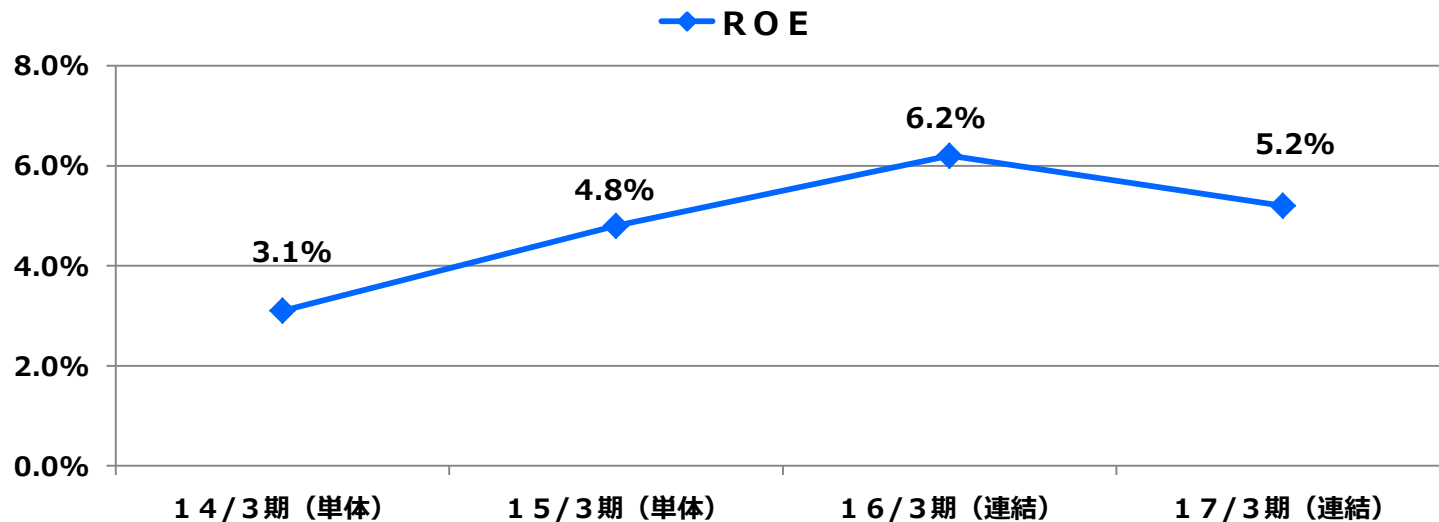


対象株主 (3月末時点所有株式)	単年度株主の場合	継続保有3年以上
1,000株以上	当社オリジナル・クオカード (3,000円) を進呈	当社オリジナル・クオカード (6,000円) を進呈
100株以上1,000株未満	当社オリジナル・クオカード (1,000円) を進呈	当社オリジナル・クオカード (2,000円) を進呈

＜クオ・カードの代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。＞

中期経営目標 ROE 8%

ROEの推移



(*) 14/3期~15/3期のROEは単体ベース

この資料には、弊社の2017年5月12日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではありません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp